

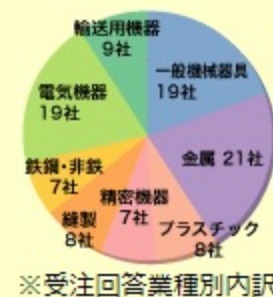
2005.12

● 調査時点 平成18年1月調査（12月末時点）

● 対象企業 150社

● 回答企業 98社

（一般機械器具19社、金属21社、プラスチック8社、精密機器7社、縫製6社、鉄鋼・非鉄4社、電気機器21社、輸送用機器8社）



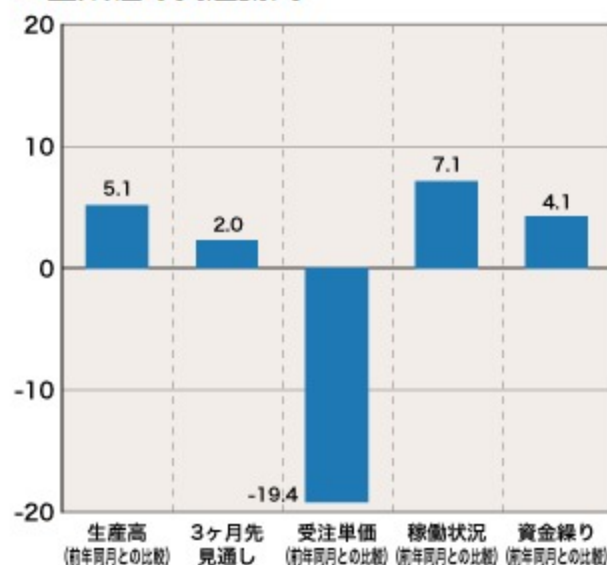
対前年同月比

全業種での生産高（対前年同月比）は5.1ポイント（前回△9.5ポイント）を示し増加傾向にある。特に「精密機器」「鉄鋼・非鉄」「輸送機器」の業種では前回調査に比べ大きく改善された。

受注単価（対前年同月比）では、△19.4ポイント（前回△31.6ポイント）と下降傾向にあるが、「鉄鋼・非鉄」の上昇傾向はさらに進んでいる。

資金繰り（対前年同月比）は、4.1ポイント（前回△4.2ポイント）を示し、「電気機器」をのぞく業種では総じて良化傾向を示している。

■全業種の受注動向



3か月先見通し

全業種での業況3カ月先見通しは、2.0ポイント（前回 0ポイント）を示した。業種別では、「プラスチック」「精密機器」「鉄鋼・非鉄」において増加とする企業が目立っているが、「金属製品」「一般機械器具」では減少に転じる見通しとしている。

■業種別の受注動向

